

誰がための健康心理学

— 研究の先にある支援を考える —

ヤングヘルスサイコロジストの会は健康心理学の研究や実践を志す、若手研究者の交流の場・機会づくりを目的として設立された会です。第9回では「誰がための健康心理学—研究の先にある支援を考える—」のテーマのもと、4名の若手研究者に話題を提供していただきます。

話題提供

12月2日(土)

15:15 ~ 16:45

神奈川大学 みなとみらいキャンパス

第2会場 (4007講義室)

青年期の自己愛傾向が対人感情制御の効果に及ぼす影響
—コンパッションへの恐れに着目して—

神奈川大学大学院 小林 茉那



児童の個人差を考慮した認知行動療法型
ストレスマネジメント支援の実践

早稲田大学大学院 姜 来娜



知識・態度・行動モデルを用いた
減塩への心理アプローチ

東北大学大学院 齋田 涼裕



乳児の親子体操が母子の心身に与える影響について

桜美林大学大学院 大金 保穂



司会

柴山 笑凜

桜美林大学大学院 / 東京大学



指定討論

高橋 健人

東北大学大学院



お問い合わせ

ヤングヘルスサイコロジストの会 世話人

東京女子医科大学 永峰大輝 E-mail : daiki.13.ng@gmail.com